

薬剤科 DI ニュース

乾燥およびカユミに用いる薬

カサカサした乾燥肌はバリア機能が低下しています。ちょっとした刺激でカユミや炎症を起こします。高齢の人に多くみられますが、若い人にも少なくありません。とくに冬場は乾燥しやすく、寝床やお風呂に入って体が暖まると強いカユミを生じるものです。このような場合に、ワセリンや保湿クリームを用います。角質の水分保持能力が高まり、カユミも軽快します。体に合っていれば、市販の安価なものでかまいません。入浴後に塗るとよいでしょう。一般的な乾燥肌(皮脂欠乏症)のほか、主婦湿疹(進行性指掌角皮症)、老人性乾皮症などにも同様な薬が使われます。乾燥肌の人には、あまり熱心に体を洗すぎないようにしましょう。石鹸でゴシゴシ強く洗うと皮脂が落ちてしまうばかりか、水分を保持する角質まではがしてしまいます。

▼保護・保湿薬

主に用いる医薬品：白色ワセリン、プロペト、尿素軟膏(ウレパール、ケラチナミン、パスタロン)、ヒルドイドソフト、ツバキ油、オリーブ油

カサカサした乾燥肌に用います。白色ワセリンは皮膚に膜をつくり、水分の蒸発を防いだり、皮膚を保護する役目をします。尿素軟膏やヒルドイドソフトには、水分保持能力を高める働きがあります。皮膚が潤うと、乾燥によるカユミもやわらぎます。市販されている保湿剤入りクリームやローションにも良質なものがあります。感じのよいものがあれば使用してもよいでしょう。

▼メントール系外用薬

メントールには皮膚の冷受容器を刺激する作用があります。スーツとする刺激感により、カユミが打ち消されます。好き嫌いがあるかもしれませんが、虫刺され、じん麻疹などの一時的なカユミに用いるとよいでしょう。残念ながら、この薬はあまり病院では使われません。市販薬としては、ムヒやウナ、メンソレータムなどたくさん種類があります。広範なカユミには、ステロイドを含まないシンプルな成分構成のものを選ぶとよいでしょう。

▼その他の外用薬

主に用いる医薬品：抗ヒスタミン薬(レスタミンコーワ軟膏)、抗生物質含有抗ヒスタミン薬(強力レスタミンコーチゾンコーワ軟膏)、ステロイド(オイラックス)、ステロイド含有抗ヒスタミン薬(オイラックスH)

レスタミンコーワ軟膏は、抗ヒスタミン薬を主成分とします。これに、弱めのステロイドとフラジオマイシンという抗生物質を加えたものが、強力レスタミンコーチゾンコーワ軟膏です。オイラックスは、クロタミトンといカユミ止めが主成分です。これに弱めのステロイドを加えたのが、オイラックスHです。これらは、軽い湿疹やカユミの治療に使われています。オイラックスは疥癬(ダニの一種)にも有効です。

▼内用薬

湿疹(アトピー)やじん麻疹でカユミのひどいときに用います。

抗ヒスタミン薬(ポララミン)、ステロイド含有抗ヒスタミン薬(セレスタミン錠)、抗アレルギー薬(ザジテンドライシロップ、ゼスラン、セルテクト錠、ジルテック錠など)

※赤字に下線:院内採用医薬品